

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：国語 科目：古典A 対象：(第2学年 選択) (2単位)

教科担当者：(山際 印)

使用教科書	標準古典A (第一学習社)	使用副教材等	標準古典A 学習課題集 (第一学習社)
-------	---------------	--------	---------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	<b>【古今著聞集】</b> ・親しみやすい教材で古文の面白さを知る。 ・古語文法の復習をする。 ・登場人物の心情を読み取る。	「文字一つの返し」 ・繰り返し音読することによって、古文の調子・リズムに慣れる。 ・重要語句の意味及び説話内容を理解し、適切に口語訳する。 ・登場人物の行動と心情を読み取る。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート提出 ・定期考査	2時間
	<b>【伊勢物語】</b> ・在原業平の人物像に興味を持つ。 ・「あづさ弓」を読み、和歌に込められた詠者の心情について考える。 ・話の流れに沿って、登場人物の心情をよみとる。 ・歌物語ならではの和歌の調べとともに、修辞技巧を学ぶ。	・一年次の「芥川」に続き、在原業平に興味を持ちつつ、内容を理解する。 ・重要語句の意味について習熟する。 ・本文の重要語句を含む部分について適切に口語訳する。 ・登場人物の行動と心情を読み取る。 ・和歌の修辞技法を学び、読解を深める。		2時間
	<b>【推敲】【赤壁之戦】</b> ・漢文に慣れさせ、訓読上のきまりをより正しく理解する。 ・故事成語が現在どのような意味で使われているのかを知る。 ・史書にみられる古代中国人の発想の豊かさを読み取る。	・繰り返し音読することによって、漢文の調子・リズムに慣れる。 ・特に注意すべき句法について確認・習熟する。 ・故事成語の由来を理解する。 ・これらの寓意によって作者がなにを言おうとしたのかについて考える。 ・登場人物の発言の意図や作戦の巧みさを読み取る。		4時間
二 学 期	<b>【枕草子】</b> ・「中納言参り給ひて」で、敬語の用法に注意し、登場人物の関係を正確につかむ。 ・「雪のいと高う降りたるを」の登場人物の行動と心理に留意する。 ・漢詩句の知識を共有する定子サロンの雰囲気理解する。	「中納言参り給ひて」 ・本文中の敬語の用法を整理し、人物関係を正確にとらえる。 「雪のいと高う降りたるを」 ・自賛談を書き記した作者の気持ちについて考える。 ・白居易の詩と日本文学の関わりを理解する。 ・『枕草子』について、文学史上の基本的な知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート提出 ・定期考査	6時間
	<b>【源氏物語】</b> ・長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・物語における和歌の役割を考える。	「桐壺」「若紫」「夕顔」「葵」 ・内容を構成や展開に即して理解する。 ・登場人物の行動と心情を読み取る。 ・長編物語の内容のおもしろさを理解する。 ・情景と心情が一体となった描写を読み味わう。 ・『源氏物語』について、文学史上の基本的な知識を持つ。		14時間
	<b>【史記・鴻門之会】</b> ・長い文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。	・繰り返し本文を読み、漢文の調子に慣れる。 ・本文の歴史的背景について理解を深める。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文を記せる。 ・登場人物の言動を把握し、その理由について読み取る。 ・反語・否定・疑問などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳を行う。		6時間
三 学 期	<b>【大鏡】</b> ・「弓争い」について読み、宮廷文化を垣間見る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	「弓争い」 ・道長と伊周の心情表現に注意しながら、文意を理解する。 ・二人の心情や言動が対照的に描かれていることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート提出 ・定期考査	16時間
	<b>【胡蝶の夢】</b> ・音読を繰り返すことによって、漢文の調子・リズムを理解する。 ・主な文型について理解し、登場人物の心理について考えさせる。	「胡蝶の夢」 ・哲学的な思考力を身につける。 ・荘子の思想について学び、理解する。 ・反語・使役・強調などの文型に習熟し、文意を的確に理解する。		

令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 数学 科目： 進学数学 対象：(第 学年 組～ 組) (第2年 選択) (2単位)

使用教科書	最新 数学 I ・ 数学 A(数研出版)	使用副教材等	改訂新版 チェックノート 数学 I +A(数研出版)
-------	----------------------	--------	----------------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開の公式</li> <li>因数分解</li> <li>根号を含む計算</li> <li>1次不等式</li> <li>関数とグラフ</li> <li>2次関数のグラフ</li> </ul>	展開の公式を利用し、整式の乗法ができるようにする。 因数分解の公式を利用し、因数分解ができるようにする。 根号を含む計算を理解し、計算できるようにする。 1次不等式の解を求めることができるようにする。 1次関数について、グラフ・最大値・最小値を理解させる。 2次関数のグラフをかくことができるようにする。	■関心・意欲・態度 授業への参加態度から判断  ■数学的な見方や考え方 授業中の発言から判断  ■表現・処理 提出物から判断  ■知識・理解 提出物から判断	10 時間
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の最大・最小</li> <li>2次関数の決定</li> <li>2次方程式</li> <li>グラフと2次方程式</li> <li>2次不等式の解法</li> <li>連立不等式</li> </ul>	2次関数の最大値・最小値を求めることができるようにする。 様々な条件から2次関数を決定することができるようにする。 2次方程式の解を求めることができるようにする。 2次関数のグラフと2次方程式の関係を理解させる。 2次不等式の解を求めることができるようにする。 連立不等式の解を求めることができるようにする。		10 時間
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角比</li> <li>三角比の相互関係</li> <li>正弦定理・余弦定理</li> <li>三角形の面積</li> <li>集合と命題・要素の個数</li> </ul>	三角比の定義について理解させる。 三角比の相互関係を理解させる。 正弦定理・余弦定理について理解させる。 三角比の面積を求めることができるようにする。 集合の表し方と要素の個数について理解させる。	■関心・意欲・態度 授業への参加態度から判断  ■数学的な見方や考え方 授業中の発言から判断  ■表現・処理 提出物から判断  ■知識・理解 提出物から判断	10 時間
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数</li> <li>順列</li> <li>組合せ</li> <li>事象と確率</li> <li>独立試行の確率</li> <li>反復試行の確率</li> <li>条件付確率</li> </ul>	場合の数について理解させる。 順列について理解させる。 組合せについて理解させる。 様々な事象の起こる確率を求めることができるようにする。 独立試行の確率を求めることができるようにする。 反復試行の確率を求めることができるようにする。 条件付確率を求めることができるようにする。		12 時間
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>角の二等分線と三角形の内心</li> <li>三角形の外心・重心</li> <li>チェバ・メネラウスの定理</li> <li>円に内接する四角形</li> <li>円と直線</li> <li>方べきの定理</li> <li>約数と倍数</li> <li>ユークリッドの互除法</li> <li>1次不定方程式</li> </ul>	角の二等分線と三角形の内心の性質を理解させる。 三角形の外心・重心の性質を理解させる。 チェバ・メネラウスの定理を理解させる。 円に内接する四角形の性質を理解させる。 円と直線の性質を理解させる。 方べきの定理を利用し、線分の長さを求めることができるようにする。 約数と倍数の性質を理解させる。 ユークリッドの互除法を理解させる。 1次不定方程式の解を求められるようにする。	■関心・意欲・態度 授業への参加態度から判断  ■数学的な見方や考え方 授業中の発言から判断  ■表現・処理 提出物から判断  ■知識・理解 提出物から判断	8 時間

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 芸術 科目： 音楽 I 対象：(第2 学年 A組～ F組) (第2学年 選択) 2単位

使用教科書	MOUSA I (教育芸術社)	使用副教材等	MUSIC NOTE (啓隆社)
-------	-----------------	--------	------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	<b>1 表現 (歌唱)</b> <b>★歌う楽しみ～</b> 独唱に挑戦しよう  ・ 校歌 ・ 教科書より課題曲 ・ 合唱曲集より	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や呼吸法、発声法に気をつけて楽曲の特徴を把握し、イメージを持って歌う</li> <li>曲想を感じ取り発声やフレーズなどを工夫しながら楽曲にふさわしい表現を追求して独唱をする</li> <li>曲想と歌詞の意味や歌詞が表す情景や心情とのかかわり</li> <li>独唱 斉唱 合唱との違いを把握する</li> </ul>	学習プリント  観察・聴取	1 4時間
	<b>2 鑑賞</b> <b>★聴く楽しみ～</b> ・ ミュージカル・ナンバー ・ 生徒リクエスト ポップスナンバー ・ 大作曲家の作品 西洋音楽への理解を深めよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽曲のピアノ生演奏を聴き、時代背景を知る</li> <li>あらすじや物語の背景、歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し楽曲にふさわしい表現を工夫する</li> <li>鑑賞した後に、感じ取ったことなどを各自記録にまとめ理解を深める</li> </ul>	課題・進捗状況  実技テスト実施	1 4時間
二 学 期	<b>3 表現 (リズム・器楽)</b> <b>★ リズムアンサンブルの楽しみ～</b> ボイスアンサンブルに挑戦しよう  ・ 野菜の気持ち ・ コーヒーロード ・ 春夏秋冬  ボディーパーカッションに挑戦しよう  ・ YOU CAN DO IT ・ プリマスロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイスアンサンブルのリズムやフレーズを把握し調和の取れた豊かなアンサンブル表現を体得する</li> <li>サンバのリズムにのって パーカッションアンサンブルに興味を持ち各パートの役割について理解する</li> <li>身体を楽器にみたて、アンサンブルの中で自分の役割を意識しながら手拍子や足踏みなど楽曲にふさわしい表現を心がける</li> </ul>	学習プリント  観察・聴取  課題・進捗状況	1 4時間  1 4時間
	<b>4 創作</b> <b>★ 創る楽しみ～</b> 作詞、作曲に挑戦しよう  ・ オノマトペでリズムをつくらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>オノマトペのもつリズム感やアクセントのおもしろさを生かす</li> <li>グループごとにテーマを決めイメージを持って歌詞をつくる</li> <li>曲想のイメージの工夫</li> <li>歌詞のアクセントやリズムを手掛かりにして音階を選びながら旋律をつくる</li> <li>創作曲のグループ発表練習</li> <li>他グループの発表をお互い鑑賞する</li> </ul>	創作ノート  作品発表会 (実技テスト実施)	1 4時間
三 学 期	<b>5 まとめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間の学習をふりかえる</li> <li>教科書、合唱曲集より まとめ</li> </ul>		

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 芸術 科目： 音楽 II 対象：(第2学年 A組～ F組) (第2学年 選択) 2単位

使用教科書	MOUSA2 (教育芸術社)	使用副教材等	MUSIC NOTE (啓隆社)
-------	----------------	--------	------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	★ハーモニーを楽しもう 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任を持って自分の担当するパートを歌っている</li> <li>ハーモニーの響きを感じながら歌っている</li> <li>歌詞の意味をよく理解して歌う</li> </ul>	関心 意欲 態度  芸術的な感受や表現の工夫  創造的な表現技能  鑑賞の能力	1 4時間
	★ハーモニーを楽しもう 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力してアンサンブル活動に取り組んでいる</li> <li>ハーモニーを感じ取り責任を持って自分のパートを歌っている</li> <li>それぞれのパートの特性を理解して演奏することができる</li> </ul>	実技テスト  提出物	1 4時間
二 学 期	★リズムアンサンブルを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムアンサンブルに興味を持ち楽しんでいる</li> <li>読譜力を身につけようと努力している</li> <li>音色や音量のバランスを工夫しながらリズムアンサンブルをしている</li> <li>リズムのみでも音楽が成り立つことを理解し 構成のおもしろさを感じながら演奏することができる</li> </ul>	関心 意欲 態度  芸術的な感受や表現の工夫  創造的な表現技能	1 4時間
	★グループアンサンブルを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力して音楽の創造を楽しむ</li> <li>発想力や個性を大切に活動している</li> <li>各グループのオリジナリティーを十分に表現することができる</li> </ul>	鑑賞の能力  実技テスト	1 4時間
	★ ドワーフに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の構成を理解し、リズムやフレーズなどを正しく表現できる</li> </ul>	提出物	
	★ ボディーパーカッションを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体の動きに興味を持ち積極的に取り組む</li> <li>曲をより効果的に表現するための技能を身につける</li> <li>グループで取り組むアンサンブルを協力して完成させる</li> </ul>		
三 学 期	★ 創作 作って歌おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作活動に積極的に取り組む</li> <li>グループごとにテーマを決めイメージを持って歌詞をつくる</li> <li>曲想のイメージの工夫</li> <li>歌詞のアクセントやリズムを手掛かりにして音階を選びながら旋律をつくる</li> </ul>	創作ノート  作品発表会 (実技テスト実施)	1 4時間
	★ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作曲のグループ発表練習</li> <li>他グループの発表をお互い鑑賞する</li> <li>一年間の学習をふりかえる</li> <li>教科書、合唱曲集より まとめ</li> </ul>		

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 外国語 科目： 英語表現 I 対象：(第2学年 A組～ F組)(第2学年 選択) 2単位

使用教科書	Vivid English Expression I (第一学習社)	使用副教材等	
-------	------------------------------------	--------	--

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	オリエンテーション Lesson 1 : Hello, Everyone! 肯定文・否定文 (be 動詞・一般動詞) Lesson 2 : She Is from Canada 疑問文・命令文 Lesson 3 : My School Life S+V, S+V+C  Lesson 4 : We Enjoy Club Activities S+V+O, S+V+O1+O2  Lesson 5 : My Hobby S+V+O+C, There is(are)… 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞、一般動詞を使った肯定文、否定文を作ることができる。</li> <li>be 動詞、一般動詞を正しく使い分けができる。</li> <li>基礎的な文法事項を用い、英語で自己紹介をすることができる。</li> <li>be 動詞と一般動詞を使い分け、正しく疑問文を作ることができる。</li> <li>疑問文を作り、相手に質問することができる。</li> <li>語の働きを理解し、文型を理解することができる。</li> <li>文型を用い、正しい英文を作ることができる。</li> <li>自分の学校生活について、英語で相手に紹介することができる。</li> <li>語の働きを理解し、文型を理解することができる。</li> <li>文型を用い、正しい英文を作ることができる。</li> <li>自分の部活動について、英語で相手に紹介することができる。</li> <li>自分の趣味や余暇の過ごし方について、英語で発表することができる。</li> <li>既習事項の復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動</li> <li>発表</li> <li>ノート</li> <li>提出物</li> <li>英作文</li> <li>単語テスト</li> </ul>	1 4時間          1 4時間
二 学 期	Lesson 6 : My Trip to Australia 現在形・現在進行形 過去形・過去進行形 Lesson 7 : Today's Weather Forecast will, be going to, 未来を表す現在形・ 現在進行形  Lesson 8 : Let's Have a Party! 現在完了形 (完了・結果・経験・継続)  Lesson 9 : Let's Enjoy Cooking! can, may, must, have to Lesson 6 : My Trip to Australia 現在形・現在進行形 過去形・過去進行形 Lesson 7 : Today's Weather Forecast will, be going to, 未来を表す現在形・ 現在進行形  Lesson 8 : Let's Have a Party! 現在完了形 (完了・結果・経験・継続)  Lesson 9 : Let's Enjoy Cooking! can, may, must, have to 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>時制を理解し、正しく英文を作ることができる。</li> <li>不規則変化動詞を正しく活用することができる。</li> <li>オーストラリアについて調べ学習を行い、英語で紹介することができる。</li> <li>未来を表す表現を理解し、正しく英文を作ることができる。</li> <li>未来を表す表現を正しく使い分けすることができる。</li> <li>未来を表す表現を用い、英語で週末の予定について表現することができる。</li> <li>現在完了形を正しく理解し、英文を作ることができる。</li> <li>現在完了形を用い、パーティーの計画について英語で表現することができる。</li> <li>助動詞を用い、正しく英文を作ることができる。</li> <li>料理の作り方を英語で説明することができる。</li> <li>時制を理解し、正しく英文を作ることができる。</li> <li>不規則変化動詞を正しく活用することができる。</li> <li>オーストラリアについて調べ学習を行い、英語で紹介することができる。</li> <li>未来を表す表現を理解し、正しく英文を作ることができる。</li> <li>未来を表す表現を正しく使い分けすることができる。</li> <li>未来を表す表現を用い、英語で週末の予定について表現することができる。</li> <li>現在完了形を正しく理解し、英文を作ることができる。</li> <li>現在完了形を用い、パーティーの計画について英語で表現することができる。</li> <li>助動詞を用い、正しく英文を作ることができる。</li> <li>料理の作り方を英語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動</li> <li>発表</li> <li>ノート</li> <li>提出物</li> <li>英作文</li> <li>単語テスト</li> <li>復習テスト</li> </ul>	1 4時間                      1 4時間
三 学 期	Lesson 10 : What's the Matter? should, Will you~?, Shall I(we)~?  Lesson 11 : A Great Ballpark 受動態 (現在・過去・未来)  Lesson 12 : I Like Movies by 以外の前置詞を用いる受動態・感情 を表す受動態の表現  Lesson 13 : Online Information to 不定詞 (名詞用法)、It is...to~  学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞を用い、正しく英文を作ることができる。</li> <li>助動詞を用い、「健康維持のためにすべきこと」について英語で発表することができる。</li> <li>受動態を理解し、正しく英文を作ることができる。</li> <li>好きなスポーツについて、理由を含め、英語で説明することができる。</li> <li>受動態の慣用表現を理解し、正しく用いることができる。</li> <li>好きな映画について、理由を含め、英語で説明することができる。</li> <li>不定詞の名詞的用法を用い、正しく英文を作ることができる。</li> <li>「インターネットを使ってする好きなこと」について英語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動</li> <li>発表</li> <li>ノート</li> <li>提出物</li> <li>英作文</li> <li>単語テスト</li> <li>復習テスト</li> </ul>	1 4時間

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：商業 科目：広告と販売促進 対象：(第2学年 A組～ E組) (第2学年 II 群選択)

使用教科書	『広告と販売促進』実教出版	使用副教材等	広告と販売促進 問題集 実教出版
-------	---------------	--------	------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	1. 販売促進の概要 2. 消費者行動の理解 3. 販売促進の戦略と具体的活動 4. 広告の概要 5. 広告計画の手順と内容 6. 広告計画の立案と広告作成 (実習)	1. ① 販売促進とは ② 販売促進と消費者ニーズ ③ 販売促進とブランド ④ 販売促進の新しい展開 2. ① 説得と態度 ② 効果的な説得 ③ 購買課程 3. ① 販売促進の戦略 ② セールスプロモーション 4. ① 広告とは ② 広告の種類、機能 5. ① 広告計画と IMC ② 状況分析 ③ 広告コンセプト ④ 広告表現の決定、広告作成の手順 ⑤ メディアの選択、メディアプラン ⑥ 広告効果測定 6. ① 学校紹介、文化祭等を題材とした広告作成実習	提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価する。  定期考査 (期末考査)	2 6
二 学 期	1. 広報の概要 2. 広報の具体的活動 3. 効果的な広報 4. 店舗の立地 5. 立地分析 (実習) 6. 店舗の設計 7. 商品の棚割と陳列 8. 店舗分析 (実習) 9. POP 広告の制作 (実習)	1. ① 広報とは (役割、種類、仕事、組織) 2. ① 商品広報、企業広報 3. ① 効果的な広報の考え方、広報の方法 4. ① 店舗立地とは ② 立地の選定条件 5. ① 実際にある (自宅や学校の近所の) 店舗や商圈を分析し、様々な資料を作成し店舗立地の実際を各自分析、発表する。 6. ① 店舗設計とは (店舗の企画、レイアウト) 7. ① 棚割の方法 ② 陳列の方法 8. ① よく利用する店舗を題材に、店舗レイアウトや棚割、陳列について分析、発表する。 9. ① POP 広告の1つであるプライスカードを作成する。	提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価する。  定期考査 (期末考査)	2 9
三 学 期	1. 新しい販売促進 2. 販売促進の規制 3. 販売促進の課題 4. 現状と近未来における販売促進に関する考察 (実習)	1. ① 消費者ニーズに応じた販売促進 ② 新しいメディアによる販売促進 ③ 新しい方法による販売促進 2. ① 規制の意義と種類 ② 法規制の具体的内容 3. ① 消費者対応の重要性 ② 法律および制度に基づいた消費者対応 ③ 自主性に基づいた消費者対応 4. ① 1年間学んだ内容をもとに、販売促進の現状と、近未来における販売促進の在り方について考察する。	提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価する。  定期考査 (期末考査)	1 5

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：産業 ものづくり 科目：木工A 単位数：2 対象：(第2学年 選択)

使用教科書	『木工加工系実技教科書』職業能力開発総合大学校編	使用副教材等	なし
-------	--------------------------	--------	----

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	(期末考査まで) 課題①  グループに分かれてスツールまたはテーブル製作を行う。 全員が協力し合ってひとつの作品を製作することでチームワークの大切さを学びながら、基本的な木工の加工方法を学ぶ。  ・製作材料及び作業工程について学ぶ。  ・機械加工について学ぶ。  ・手加工及び木工具について学ぶ。	・木工作業に必要な木工具の基本的な使用方法を学ぶ。 鉋・ノミ・鋸・毛引き等  ・手加工と機械加工の両方を体験して仕事の効率を考えながら作業できるようにする。  ・失敗からどのように修正していくか、修正方法を学ぶ。  ・木材について理解する。  ・正しく安全な工具の使用方法を理解する。  ・製作に対する理解、関心、態度を身につける。	・出席状況、授業態度、作品の完成度を総合的に判断して、評価する。  ・関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する。  ・知識、理解については、授業内の質問等により評価する。  ・技能、表現、思考については、ものづくりに対する姿勢および作品のクオリティーで評価する(失敗の修正も考慮する)	28
二 学 期	(期末考査まで) 課題②  販売するための作品を製作する。  ・デザインについて学ぶ。  ・製作材料及び作業工程について学ぶ。  ・機械加工について学ぶ。  ・手加工及び木工具について学ぶ。	・木工作業に必要な木工具の基本的な使用方法を学ぶ。 鉋・ノミ・鋸・毛引き等  ・手加工と機械加工の両方を体験して仕事の効率を考えながら作業できるようにする。  ・失敗からどのように修正していくか、修正方法を学ぶ。  ・木材について理解する。  ・正しく安全な工具の使用方法を理解する。  ・製作に対する理解、関心、態度を身につける。	・出席状況、授業態度、作品の完成度を総合的に判断して、評価する。  ・関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する。  ・知識、理解については、授業内の質問等により評価する。  ・技能、表現、思考については、ものづくりに対する姿勢および作品のクオリティーで評価する(失敗の修正も考慮する)	28
三 学 期	(期末考査まで) 課題②  最終仕上げ方法を学ぶ  ・接着 ・着色 ・塗装	・木工作業に必要な木工具の基本的な使用方法を学ぶ。 鉋・ノミ・鋸・毛引き等  ・手加工と機械加工の両方を体験して仕事の効率を考えながら作業できるようにする。  ・失敗からどのように修正していくか、修正方法を学ぶ。  ・木材について理解する。  ・正しく安全な工具の使用方法を理解する。  ・製作に対する理解、関心、態度を身につける。	・出席状況、授業態度、作品の完成度を総合的に判断して、評価する。  ・技能、表現、思考については、ものづくりに対する姿勢および作品のクオリティーで評価する(失敗の修正も考慮する)	14

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：産業 ものづくり 科目：ガラス工芸A 対象：(第2学年 A組～ F組) (第2学年 選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	なし
-------	----	--------	----

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・無地玉</li> <li>・フリットとこて成形</li> <li>・ねじり玉</li> <li>・ヒゴ引きと流し玉</li> <li>・水玉模様と花模様</li> <li>・点ひねり</li> <li>・泡玉</li> <li>・簡単パーツ</li> <li>・テーマをもったトンボ玉づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に作業するための諸注意を再確認する。</li> <li>・ガラスの歴史、原料、技法、特性について理解を深める。</li> <li>・作業記録に注意点をわかりやすく書く。</li> <li>・トンボ玉の基本技術（1年次）の復習。</li> <li>・こてやピンセットなど、道具を用いて成形する。</li> <li>・重曹やフリットなど、材料がもたらす表現効果を知る。</li> <li>・ひご棒など、パーツを作って組み合わせる。</li> <li>・習得した技術を生かし、テーマを持った作品をつくることで作品としてのデザイン性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、作品の完成度、報告書、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する</li> <li>・知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する</li> <li>・技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品の完成度により評価する</li> </ul>	28
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねじり棒</li> <li>・レース棒</li> <li>・パーツをつなぐ練習</li> <li>・動物</li> <li>・アクセサリー制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トンボ玉の技術手法の様々な可能性を見つけ、表現力を養う。</li> <li>・より高度なパーツ製作技法を習得し、それを応用した複雑な表現を作品に応用する。</li> <li>・ストラップや、ネックレス、ブレスレット、キーホルダーなど、身近なアクセサリーを制作することで、制作意欲と創造性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、作品の完成度、報告書、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する</li> <li>・知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する</li> <li>・技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品の完成度により評価する</li> </ul>	28
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルデザインによる作品制作</li> <li>・作品講評会</li> <li>・きらきら橘商店街出展準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した技術を生かし、テーマを持った作品をつくることで作品としてのデザイン性を高める。</li> <li>・自分なりの色使いや技法の工夫を、わかりやすい言葉で伝える。</li> <li>・ネックレス、キーホルダーなど身近なアクセサリーを制作することで、制作意欲と創造性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、作品の完成度、報告書、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する</li> <li>・知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する</li> <li>・技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品の完成度により評価する</li> </ul>	14



令和3年度 年間授業計画

都立 橋 高等学校

教科： 産業 ものづくり 科目： クラフトデザインA 対象：(第2学年A組～F組) (第2学年 選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	なし
-------	----	--------	----

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィックデザインについて</li> <li>イメージについて</li> <li>モダンテクニックについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィックデザインとは何か？</li> <li>デザイン分野の中でのグラフィックデザインの位置</li> <li>グラフィックデザインの内容</li> <li>Image とは何か？</li> <li>再生的イメージ</li> <li>空想的イメージ</li> <li>独創的イメージ</li> <li>マーブリング</li> <li>デカルコマニー</li> <li>スパッタリング</li> <li>フロッタージュ</li> <li>スタンプング</li> <li>コラージュ</li> <li>スクラッチ</li> <li>テクスチャー</li> </ul>	<p>出席状況、作品の完成度、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する</p> <p>関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する</p> <p>知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する</p> <p>技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品の完成度、発表時の他の生徒への関心により評価する</p>	<p>8</p> <p>6</p> <p>14</p>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストレータの操作法について</li> <li>フォトショップの操作法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストレータの使い方について（基礎）</li> <li>ベジェ曲線</li> <li>マスクング</li> <li>トレース</li> <li>ポスター制作</li> <li>コンセプト・アイキャッチャー・コピー・スペック</li> <li>フォトショップの使い方について（基礎）</li> <li>画像解像度</li> <li>トリミング</li> <li>色調補正</li> <li>プログラム制作</li> <li>コンセプト・アイキャッチャー・コピー・スペック</li> </ul>		28
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な作品制作</li> <li>作品のプレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストレータとフォトショップによる作品制作</li> <li>プレゼンテーションを実施、生徒間で評価する</li> <li>プレゼンテーションについて理解する</li> <li>自分の作品についてのプレゼンテーションを考え、発表する</li> <li>お互いを評価し、他の生徒の表現を学ぶ</li> </ul>		14

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：産業ものづくり 科目：ジュエリーA 対象：(第2学年 A組～F組) (第2学年 選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	なし
-------	----	--------	----

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	シルバーリング製作 (錠目リング) 作業手順 1) 銀材(笹吹き)溶解 2) 銀材の焼きなまし作業 3) 打ち出し 4) リングサイズ決定(ノギス計測) 5) 仕上げ作業(サンドペーパー) 6) バフ仕上げ 以上の加工手順で基本的な錠目のリングを製作する。	(A) リング製作の基本知識を習得させる。  1) 道具の使い方を習得する ・ハンマーと金床 ・すり板 ・やすり(中目、細目、油目) 2) 基本技術 ・溶解方法 ・ロウ付け方法 3) バーナーワーク ・炎の加減と理解 ・銀の焼きなまし方法理解  (B) 基本的な(錠目のリング)、やすりを使用した(すりだしリング)糸鋸を使用した(透かし彫りリング)を製作しながら、ものづくりに対する興味・関心を持たせる。 また、3学年選択ジュエリーBで応用し、リング製作ができるようにする。  (C) 安全作業 作業はバナーやローラーを扱う。 やけどや巻き込みを防止するように指導するとともに、作業服の正しい着用を義務付け、作業させる。	出席状況、作品の完成度、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する  関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する  知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する  技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品のオリジナリティー、完成度により評価する	2 8
二 学 期	ペンダントトップ製作 (透かし彫りペンダントトップ) 作業手順 1) デザイン 2) 打ち出し 3) 糸鋸透かし彫り 4) 仕上げ作業(サンドペーパー) 5) バフ仕上げ 以上の加工手順ですり出しのリングを製作する。	(A) 透かし彫り製作の基本知識を習得させる。  1) 道具の使い方を習得する ・糸鋸 ・すり板 ・やすり(中目、細目、油目) 2) 基本技術 ・溶解方法 ・ロウ付け方法 3) バーナーワーク ・炎の加減と理解  (B) 糸鋸を使用した(透かし彫り)を製作しながら、ものづくりに対する興味・関心を持たせる。 また、3学年選択ジュエリーBで応用し、製作ができるようにする。  (C) 安全作業 作業はバナーやローラーを扱う。 やけどや巻き込みを防止するように指導するとともに、作業服の正しい着用を義務付け、作業させる。	出席状況、作品の完成度、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する  関心、意欲、態度については、授業中および課題提出等の学習状況を考慮する  知識、理解については作業内容の正確さや授業中の発問により、評価する  技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品のオリジナリティー、完成度により評価する	2 8
三 学 期	シルバーリング製作Ⅱ (透かし彫りリング) 作業手順 1) 銀材(笹吹き)溶解 2) 銀材の焼きなまし作業 3) 打ち出し 4) リングサイズ決定(ノギス計測) 5) 糸鋸透かし彫り 6) 仕上げ作業(サンドペーパー) 7) バフ仕上げ 以上の加工手順ですり出しのリングを製作する。		出席状況、作品の完成度、協調性、整理整頓等を総合的に判断して評価する  技能、表現、思考については、授業に対する姿勢および作品のオリジナリティー、完成度により評価する	1 4

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：産業 ものづくり 科目：環境科学 対象：(第2学年 A組～F組) (第2学年 選択)

使用教科書	地球環境問題がよくわかる本	使用副教材等	なし	
	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	<p>○私たちのまわりの環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な化学物質について</li> <li>・リサイクルに関するマークについて</li> </ul> <p>○環境問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いま地球に起きていること</li> <li>・公害について</li> <li>・環境問題について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境問題を理解させる。</li> <li>・これからの必要な知識として、環境に関するマーク（リサイクルマーク等）を身に付けさせる。</li> <li>・環境問題を解決するためには、地球規模で対応しなければならないことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況及び課題提出、環境問題に関する理解度等を総合的に判断して評価する。</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中の態度及びノート提出等の学習状況を考慮する。</li> <li>・知識、理解については、授業内の質問等により評価する。</li> <li>・技能、表現、思考については、環境測定や課題等の作業に対する取り組み内容により評価する。</li> </ul>	28
二 学 期	<p>○環境問題への取り組みについて①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会について</li> <li>・環境保全と開発について</li> <li>・循環型社会への取り組みについて</li> </ul> <p>○環境問題への取り組みについて②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家の枠を越えた取り組み</li> <li>・関係法令</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保護と環境保全の違いを理解させる。</li> <li>・循環型社会のための様々な技術を理解させる。</li> <li>・地球サミット等が開催される理由を理解する。</li> <li>・環境を守る法令は、私たちの健康や生活を守る法令であることを理解させる。</li> <li>・国内外の環境問題とその取り組みや条約・法律等理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況及び課題提出、環境問題に関する理解度等を総合的に判断して評価する。</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中の態度及びノート提出等の学習状況を考慮する。</li> <li>・知識、理解については、授業内の質問や確認テスト等により評価する。</li> <li>・技能、表現、思考については、環境測定や課題等の作業に対する取り組み内容により評価する。</li> </ul>	28
三 学 期	<p>○資源と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源の種類</li> <li>・枯渇性エネルギー資源</li> <li>・再生可能エネルギー資源</li> <li>・水素エネルギーによる発電</li> </ul> <p>○環境測定の実施と結果の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質</li> <li>・大気</li> <li>・土壌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源と廃棄物について、現状と問題点を探り、省資源・省エネルギーの大切さを考える。</li> <li>・得られたデータを整理して、身の回りの環境の状況を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況及び課題提出、環境問題に関する理解度等を総合的に判断して評価する。</li> <li>・関心、意欲、態度については、授業中の態度及びノート提出等の学習状況を考慮する。</li> <li>・知識、理解については、授業内の質問や確認テスト等により評価する。</li> <li>・技能、表現、思考については、環境測定や課題等の作業に対する取り組み内容により評価する。</li> </ul>	14

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科：産業 ものづくり 科目：インダストリアルデザインA 対象：(第2学年A組～F組) (第2学年 選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	なし
-------	----	--------	----

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	・ ガイダンス	・ 一年間の学習について話をする	・ 出席状況及び課題提出、デザインに関する論理的な理解、作品の完成度等を総合的に判断して評価する。	2
	・ デザインの役割について	・ プロダクトデザインの意味と役割を歴史を通して理解させる。		6
	・ デザインの表現法について - 静物デッサン - アイディアの表現方法について	・ 身の回りにある実際にデザインされたものをデッサンする中で、ユーザビリティとデザイン性における特徴を見出す観察力を養わせる。 ・ ①手書きと、②Illustrator や Photoshop、Power Point 等のアプリケーションを使用したプレゼン手法について、具体的に操作しながら理解させる。		14
	・ デザインの発想法について	・ 自身の生活や行動、需要、問題解決等がデザインの萌芽につながることを理解させる。		6
二 学 期	・ 共通課題による作品製作	・ 工業製品に着目し、共通のテーマに対してデザインする中で、1学期に学んだユーザビリティとデザイン性について体現させる。	・ 出席状況及び課題提出、デザインに関する論理的な理解、作品の完成度等を総合的に判断して評価する。	24
	- 中間発表			4
三 学 期	・ 共通課題による作品製作	・ 自分の表現方法を選択させ、作品についてプレゼンテーションを行う中で、デザイン力だけでなく他者によりよく伝達する手法についても理解させる。	・ 出席状況及び課題提出、デザインに関する論理的な理解、作品の完成度等を総合的に判断して評価する。	10
	- 最終発表			4

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橋 高等学校

教科： 産業 ビジネス 科目： ビジネス計算I 対象：(第2学年 I群II群選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	全商珠算電卓検定模擬試験問題集3-級(実教出版)
-------	----	--------	--------------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	I. 電卓による初歩的な計算技術 (全商珠算・電卓検定3級の普通計算)	(1) タッチメソッドの基本技術の習得 (2) 普通計算(乗算、除算、見取算、伝票算、構成比率の計算) (3) 3級普通計算部門の速度と正確性の向上	電卓の機能を知り、 簡単な計算に利用することができる。 正しく、速く計算ができる。  定期考査 授業への取り組み 提出物・出欠状況	10
二 学 期	II. ビジネスに関する計算 1. 度量衡の計算 2. 貨幣の換算 3. 割合の計算 4. 利息(単利)の計算 5. 1学期の復習と確認  III. 検定試験合格に向けて (全商珠算・電卓実務検定3級)  IV. 2学期の復習と確認	(1) 普通計算の復習 (2) ビジネス計算の復習  (1)長さの換算 (2) 重さの換算  (1)外貨(ドル、ポンド、ユーロ)→邦貨への換算 (2) 邦貨→外貨への換算  (1) 増加率 (2) 減少率  (1)利息の計算 (2) 元利合計の計算  (1) 普通計算の復習 (2) ビジネス計算の復習	ビジネス計算の問題を 理解し、計算式に置き 換え、正確に計算する ことができる。  定期考査 授業への取り組み 提出物・出欠状況	22
三 学 期	III. ビジネス計算応用 (全商珠算・電卓実務検定2級の 範囲)	(1)逆算による利率、期間、元金の計算 (2)割引料の計算 (2)手取金の計算	2級のビジネス計算に ついて関心を持ち、積 極的に取り組むことが できる。  定期考査 授業への取り組み 提出物・出欠状況	6

## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 産業 ビジネス 科目： 原価計算演習 対象：(第2学年 A組～ F組) (第2学年 I群選択)

使用教科書	原価計算 (実教出版)	使用副教材等	各自使用しているもの	
	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	原価と原価計算 原価計算のあらまし 工業簿記 材料費の計算と記帳 労務費の計算と記帳 経費の計算と記帳 個別原価計算 部門別原価計算	第1章 工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 原価の意味を理解させる。 第2章 原価要素の性格とその分類について理解させる。 原価計算の手続きについて理解させる。 原価計算期間について理解させる。 第3章 工業簿記に特有な勘定科目とそれぞれの記帳法を理解させる。 工業簿記の一連の記帳手続きを学習させることにより、全体的な構造を理解させる。 第4章 材料費の分類とその内容を理解させる。 棚卸減耗の意味とその処理方法を理解させる。 予定価格を用いた記帳法を理解させる。 第5章 労務費の分類とその内容を理解させる。 予定賃率を用いた記帳法を理解させる。 第6章 経費の意味とその分類を理解させる。 経費の消費高の計算と記帳法を理解させる。 第7章 個別原価計算のしくみを理解させる。 製造間接費の配賦について理解させる。 第8章 部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 製造部門費予定配賦表を作成させる。	商業選択で習った原価計算の授業に添い、類題に挑戦させる。  わからない問題はわからないままにせず、必ず質問するといった主体的な学習態度を評価する。  小テスト提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価し、定期考査は実施しない。	27
二 学 期	総合原価計算 工程別原価計算 総合原価計算における減損 製品の完成と販売 決算と本社・工場の取引	生産形態の違いから原価計算の方法も異なることを理解させる。 個別原価計算と総合原価計算の違いを理解させる。  工程別原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 半製品の意味と記帳方法について理解させる。  減損の意味と、それが発生した場合の処理方法を理解させる。  製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 販売費及び一般管理費の記帳方法について理解させる。  財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 工場会計の独立とその記帳方法について理解させる。	小テスト提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価し、定期考査は実施しない。	30
三 学 期	第14章～第17章 標準原価計算と直接原価計算	標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 標準原価計算の記帳方法を理解させる。 直接原価計算の意義と特徴を理解させる。 CVP分析や損益分岐図表により売上高・原価・利益の関係を理解させる。  工場での簿記を想定し、多くの問題の演習を行う。	小テスト提出物、課題、授業態度など総合的に判断し評価し、定期考査は実施しない。	21

令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 産業 ビジネス 科目： ビジネス会計演習 対象：(第 2 学年 A 組～ F 組) (第2学年Ⅲ 選択)

使用教科書		使用副教材等	最新段階式 日商簿記検定問題集ほか
-------	--	--------	-------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	(中間考査まで) 仕訳の問題 伝票の問題  (期末考査まで) 補助簿等の問題 試算表作成の問題	1 学年の学習成果をもとに、日本商工会議所主催簿記検定3級の内容を学習する。 現金・当座預金・商品有高帳・小口現金出納帳・仕入帳・売上帳・得意先元帳・精算票・損益計算書・残高試算表等の帳簿および仕訳問題を復習、日商向けに補填しつつ基礎を固める。	以下の内容により 総合的に評価する 出席状況 授業態度 目標への到達度 (日商検定向けの基礎が理解できたか、検定に向けての学習意欲はあるか)	20
一 学 期	(中間考査まで) 決算の手続き 総合問題演習 (期末考査まで) 仕訳の問題 伝票・本支店の問題	1 1月の検定試験合格を目標にした学習を進めていく。 過去問を中心に繰り返し演習を行い、どのような形式で出題されても回答できるように学習を進める。  1 1月の検定後は、今までの学習成果および、必修科目「ビジネス会計Ⅱ」における学習成果をもとに、日本商工会議所主催簿記検定2級の内容を学習する。目標は次年度6月の検定合格とする。	以下の内容により 総合的に評価する 出席状況 授業態度 目標への到達度 (日商検定向けに意欲を持って学習を進められたか、検定の内容が理解できたか、次の検定に向けて意欲を持って学習できたか)	20
三 学 期	(期末考査まで) 決算の手続き 工業簿記分野の問題	今までの学習成果および、必修科目「ビジネス会計Ⅱ」における学習成果をもとに、日本商工会議所主催簿記検定2級の内容を学習する。 商業簿記の範囲に加え、工業簿記、原価計算部門の学習にも着手する。 6月の検定合格を目標とするが、学習が進めば2月の検定の受検も視野に入れる。	以下の内容により 総合的に評価する 出席状況 授業態度 目標への到達度 (日商検定向けに意欲を持って学習を進められたか、検定の内容が理解できたか、次の検定に向けて意欲を持って学習できたか)	15

令和3年度 年間授業計画

都立 橋 高等学校

教科： 産業 IT 科目： コンピュータ・グラフィックスA 単位数 2単位 対象：(第2学年 選択)

使用教科書		使用副教材等	『入門 CG デザイン』CG-ARTS 協会
-------	--	--------	------------------------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	1. オリエンテーション	① 教室利用のルールと授業の進め方について理解し、授業へ主体的に参加する。 ② 授業の目的と評価の規準について理解し、CG領域における知識理解と技能習得の均衡について認識する。	関心・意欲・態度 演習および授業への参与状況等について観察を行う	1時間
	2. 画像の表現とCGシステム	① CG画像の生成と、視覚可能な仕組みについて理解する。 ② 画像ファイルの種類と画像圧縮技術の概念について理解する。	知識・理解	5時間
	3. フォトレタッチの基礎	① 写真撮影とレタッチの原理と用途について理解する ② フォトレタッチの表現技法について演習を通して技能を習得する。	レポートならびに考査の結果に基づき到達度を判断する	6時間
	4. 色調補正	① 色の補正と表現としての調整について理解する。 ② コントラストの調整とカラーバランスの調整について理解するとともに、演習を通して表現技能を習得する。	6時間	
	5. 総合制作課題①	① 文化祭ポスター・パンフレットの校内コンペ作品を制作する。	思考・判断 演習における作品制作の工夫について観察を行う  技能・表現 授業課題の成果により習得度を判断する	6時間
二 学 期	6. 2次元CG画像生成の仕組みと制作演習	① ペイントシステムにおける描画の仕組みについて理解するとともに、演習を通して表現技能を習得する。 ② アンチエイリアシングについて理解するとともに、演習を通して表現技能を習得する。	関心・意欲・態度 演習および授業への参与状況等について観察を行う	10時間
	7. 2次元CG画像生成の基本技術と基礎演習	① ラスタ形式描画ソフトウェアを活用して、以下のCG技術について理解するとともに、その技法を習得する。 ○ ヒストグラムと画像の統計量 ○ 画素単位での濃淡変換 ○ 画像構成要素の置換と画像間演算 ○ フィルターによる特殊効果 ○ 文字の加工 ○ ウェブ用画像	知識・理解 レポートならびに考査の結果に基づき到達度を判断する  思考・判断 演習における作品制作の工夫について観察を行う	8時間
	8. ベクタ形式画像の原理と制作演習	① ベクタ形式画像の特徴と用途について基礎的な知識を理解する。 ② 塗りと線の描画手法と特徴について理解するとともに、ラスタ形式画像との相違について演習を通じて体感する。 ③ ドロー系描画ソフトウェアを活用して、以下のCG技術について理解するとともに、その技法を習得する。 ○ パスの描画（ベジェ曲線） ○ 文字の生成と編集 ○ 印刷入稿データの作成	8時間	
9. ドロー系描画ソフトウェアによるデザイン成果物の制作演習	① CG（デジタル）と印刷物（アナログ）の関係について理解するとともに、作業工程間のスムーズな連携に必要な実践的な技能を習得する。 ② 産業用途におけるCG活用の実情を理解するため、各種制作演習課題に取り組み、実務に即した応用技術を習得する。 ○ ロゴマーク ○ オリジナル名刺	技能・表現 授業課題の成果により習得度を判断する	8時間	
三 学 期	10. 知的財産権と著作権	① 著作権および産業財産権（工業所有権）に関する法の精神を理解するとともに、具体的な判例を基に法の適用範囲や権利の保護について理解を深める。	関心・意欲・態度 演習および授業への参与状況等について観察を行う	4時間
	11. 総合制作課題②	① キラキラ橋商店街販売実習の告知チラシを制作する。	知識・理解 レポートならびに考査の結果に基づき到達度を判断する 思考・判断 演習における作品制作の工夫について観察を行う 技能・表現 授業課題の成果により習得度を判断する	8時間



## 令和3年度 年間授業計画

都立 橘 高等学校

教科： 産業 IT 科目： 情報基礎II 対象：(第  学年   組～   組) (第2学年 選択) (第3学年 選択)

使用教科書	なし	使用副教材等	自校作成教材
-------	----	--------	--------

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
一 学 期	I データベースシステムの概要 1 オリエンテーション  2 データベースソフトウェアの基本操作とデータベースの編集	I-1 オリエンテーション データベースの学習の意義や内容、学習の進め方、評価方法について理解する。  I-2 データベースソフトウェアの基本操作 ①データベースとは何か ②起動 ③データを開く ④画面構成と各部名称 ⑤テーブル操作 ⑥データの検索 ⑦選択フィルタの利用 ⑧選択の絞込み ⑨フォームフィルタの利用 ⑩レコード並べ替え ⑪データの印刷 ⑫演習	関心・意欲・態度の達成度 ・ データ処理の特性を通じて、自ら問題・課題を発見しようと努めているか。  知識・理解の達成度 ・ ソフトウェアを正しく操作して、目的のデータ処理ができてきているか。  思考・判断・表現の達成度 ・ 自己判断に基づいた処理過程を導くことができているか。  技能の達成度 ・ 技能検定試験に合格できる技能を身につけたか。	I-1 1時間  I-2 25時間
二 学 期	II テーブルの操作	①選択クエリの使用 ②更新クエリの使用 ③新規テーブルの作成 ④データをクエリで追加 ⑤データをクエリで削除 ⑥テーブルの集計 ⑦クロス集計 ⑧異なる値で選択する方法 ⑨演習	関心・意欲・態度の達成度 ・ データ処理の特性を通じて、自ら問題・課題を発見しようと努めているか。  知識・理解の達成度 ・ ソフトウェアを正しく操作して、目的のデータ処理ができてきているか。  思考・判断・表現の達成度 ・ 自己判断に基づいた処理過程を導くことができているか。  技能の達成度 ・ 技能検定試験に合格できる技能を身につけたか。	30時間
三 学 期	III SQLの理解	①SQLとは ②SQLの文法 ③SQLクエリ	関心・意欲・態度の達成度 ・ データ処理の特性を通じて、自ら問題・課題を発見しようと努めているか。  知識・理解の達成度 ・ SQLの文法を理解しているか。  思考・判断・表現の達成度 ・ 自己判断に基づいた処理過程を導くことができているか。  技能の達成度 ・ 技能検定試験に合格できる技能を身につけたか。	14時間